

学校紹介

市内にある17の小中学校。他の学校はどのようなPTA活動をしているのでしょうか？
今回は5つの小中学校のPTA会長に各校の特色を伺いました。

明南小学校

明南まつり

明科の地元地域と密着した明南小学校独自イベントを簡単に紹介させていただきます。新型コロナウイルスが感染拡大する中「明南まつり」が12月21日に何とか開催することが出来ました。この明南まつりですが、日頃よりお世話になっている地元ボランティアの『とんがりサポート』の皆様や地域コーディネーターの方、地元地域の皆様、それから明南小PTAの方々に恩返しにと各クラブ活動の発表や作品展示、全校児童によるダンス披露にご招待していただきました。

最初にクラブ発表が有り『琴クラブ』では『さくらさくら』を大人顔負けで演奏し『ダンスクラブ』では、TikTokなどで見た振り付けからインスパイアされた独自の振り付けのダンスで見ている人を魅了し、『演劇クラブ』では、『シン・シンデレラ』と題して名作シンデレラを基にオリジナルのストーリー構成やセリフを考え独創的で愉快的な演劇を披露していました。

次に各クラブの作品展示を拝見し『習字クラブ』では、色々な種類の墨を使い書道家の様な文字を書き、『折り紙クラブ』では、色々な折り方を駆使し生け花や小物入れなどの力作が展示され『イラストクラブ』では、今、流行りのスパイアアニメを初め色々なキャラクターを部屋いっぱいに描きファンタジー世界のへと誘い、『パソコンクラブ』では、難度の低いものからゲーマーでもクリアが難しい自作ゲームが目白押しでした。『竹の工作クラブ』では、『やじろべえ』などの竹細工の展示や『竹トンボ』飛ばし体験でデジタルでは表現が出来ない昭和の匂いがする楽しいひとときを味わい、『裁縫クラブ』では、デザインと実用性を兼ね備えた作品を展示し、作る過程の苦労や完成後の達成感などのコメントが添えられており「母さんが夜なべをして〜」を思い出させて貰いました。最後に全校児童によるダンスは、昨年度よりお世話になっている長野県内で活動するプロダンサーのご指導の下、11月開催の音楽会終了と同時にダンスの練習を始め明南祭りが延期したとは言え1ヶ月そこそこで本番を向かえることとなり、不安が残る中どうなることかと困睡を飲んで見守っていましたが、1年生から6年生まで息の合ったキレッキレのダンスで高い集中力と強い団結力に感動致しました。この「明南まつり」は、今後も未永く続けて行って欲しいと切に願います。



堀金中学校

学校運営協議会の活動へ参加して

少子化・働き方改革等の社会的情勢の変化にともない、地域と連携した学校運営を進めるべく堀金地域でも学校運営協議会の取り組みがスタートしました。PTAとしても学校関係者、コーディネーター、地域関係団体代表者と共に協議会へ参加し、保護者目線での意見を発信させて頂いています。今年度はキャリアフェスティバルと称し、地元企業と連携した「働くとはどういうことか」をテーマにした交流を深める活動を展開しました。終了後には、企業と生徒双方からアンケートを集め、子どもたちの胸の内を知ることができました。

来年度はこの取り組みをさらに加速させるため、堀金地域で開催されている家庭教育講演会においてコミュニティ・スクールをテーマとした講演を開催する予定で取組んでいます。子どもたちの学びの場を守る取り組みに地域一体となり共に活動しています。



穂高西中学校

式服のジェンダーレスに向けて

昨年度行われた文化祭の意見交換会での本校女子生徒の「男子と同じ柄のスラックスを着用したい」という言葉をきっかけに、式服のジェンダーレスへの取り組みがスタートしました。

式服をジェンダーレスにするにあたり、生徒が正しい知識のもと、自分の意志を尊重して選択できるように、「マイノリティー」「ユニバーサルデザイン」「LGBTQ」を題材に学習を行いました。また、性別・年齢を問わずに自分らしさを学ぶ場所である「乙女塾」を創設された西原さつきさんに「自分らしく生きていく」と題して講演をしていただきました。

その後、実際に式服の改善に取り組みました。式服を担当する業者に試作品を作製していただき、生徒の感想や意見を取り入れながら男女別々であった上着のフォルムを統一し、チェンジボタンの自分で右前左前を選べる仕様の式服を完成させました。



三郷小学校

コミュニティ・スクール(夢☆応援団)がスタートしました。

三郷小学校は、今年度、3名のコーディネーターの先生方をはじめとした計7名の委員が任命され、学校運営協議会を本格的に組織化しました。

その中で今年度のPTA会長を同会会長に、学校長を同会副会長とし、子どもたちの夢だけでなく保護者や地域の夢の実現もめざした組織として、三郷小学校独自に「夢☆応援団」の名称でコミュニティ・スクールのスタートを切りました。

コミュニティ・スクールの話しを学校側からいただいた際、趣旨などの説明を聞くも、実際どんな活動をしていくのか、またそれを保護者にどのようにイメージしてもらえばいいのかなど全く想像がつかず、保護者に「夢☆応援団」会員を募らなくてはいけない状況におかれた時には、通知の内容に、試行錯誤した記憶があります。

多様性が求められる今だからこそ必要と考えるものの中の一つに、学校・保護者・地域との繋がりも重要と考え、それぞれが共通認識を持って子どもたちの育成に関わることで、子どもたちの成長も幅が広がり、子どもたちだけでなく、保護者や地域も成長していけるのではないかと考えます。

会を進めるにあたり、活動を通じて先生や会員間で批判をしないこと、会員間の親睦を深めることを重要視し、更にはPTA活動で得た知識も「夢☆応援団」の場で還元していくことも取組みの一つとしています。

現在、学校運営協議会や「夢☆応援団」に加え、会で具体化した案を開催している状況ですが、活動を通じ、子どもが楽しい時間を過ごしていることに喜びを感じ、母親だけでなく、父親の姿が見られるようになったことも最近の大きな成果・財産となっています。



穂高南小学校

非常食と飲料水の購入活動

穂高南小学校のPTA活動として、緊急時の非常食と飲料水の備蓄を行っております。取り組みの内容を簡単にご説明するとPTA活動で行った資源物回収やリユース品の販売収入を特別会計枠として扱い、非常食と飲料水の購入費に充てています。購入量と頻度は約1学年分を年に1回購入しております。

消費方法は学校側の協力を得て模索の段階ではありますが災害学習で利用したり、キャンプなどの野外活動で調理したりしており、子どもたちにも有意義に感じてもらえるようにしています。

実際に感想を聞いたところ、さすがに野外で作るカレーの味には劣ると厳しいご意見もありましたが、みんなの笑みがこぼれているのでまんざらでもなさそうです。

これからも保護者と学校、そして子どもたちをつなぐ活動を続けていきます。



編集後記

- お世話になりました。貴重な経験でした。堀金中学校：丸山 守
- この活動を通し他校のPTA会長との交流、活動などを知る事ができ有意義な時間を経験できました。穂高西小学校：岡 敬之
- 初めての広報委員活動で当初は右も左も分からず足を引っ張っていたかもしれませんが、とても有意義な時間が過ぎました。また「どうせやるなら楽しんで」が実践出来て本当に楽しく活動させていただきました。一年間、ありがとうございました。明南小学校：丸山 貴弘
- 他校の活動内容を良く知ることができいい機会でした。ありがとうございました。堀金小学校：油井 稔
- 広報誌を良いメンバーで作る事が出来て、感謝いたします。明北小学校：竹内 正昭
- 広報誌を通して貴重な経験をさせていただきありがとうございました。穂高西中学校：平林 文明
- あっという間で充実した1年間でした。ありがとうございました。穂高南小学校：山岸 直人
- コロナ禍でも何か出来ることがないか、試行錯誤の一年でした。穂高北小学校：M・T
- 広報誌を通して、貴重な経験をさせて頂きましてありがとうございました。豊科南中学校：木下 真美



<https://azumino-pta.com>

「ぞらいろのたね」では学校の取り組み等、記事を募集しています。お気軽にホームページよりご連絡ください。

